



令和6年5月21日（火） 岐阜県発表資料			
担 当 課	担 当 係	担 当 者	電 話 番 号
文化祭総務企画課	県民運動係	鈴木 一史	内線 3184 直通 058-272-8127 FAX 058-278-2551

＜「清流の国ぎふ」文化祭2024 県民運動＞
 清流文化地域推し活動『ちーオシ』
 「ちーオシスタチュー」制作ワークショップを開催します！
 （5月最終週分）

「清流の国ぎふ」文化祭2024の開催機運を盛り上げる県民運動として、「清流文化地域推し活動」（愛称『ちーオシ』）を進めています。

下記のとおり、市町村が選んだ文化の「推し」をモチーフにした「ちーオシスタチュー」の制作ワークショップの詳細が決定しましたので、お知らせします。

記

○開催日時・場所・内容

5月最終週に開催する町村のワークショップは次のとおりです。

市町村名	日 時	場 所	内容※	備考
安八町	5月29日（水） 18時00分～20時00分	安八町中央公民館 （安八町南今ヶ淵400）	(2)、(3)	
東白川村	6月1日（土） 9時00分～14時00分	東白川村集落支援機構事務所 （東白川村神土426-1）	(1)	
笠松町	6月1日（土） 13時00分～16時00分	笠松中央交流センター1階 （笠松町常盤町6）	(2)	
輪之内町	6月3日（月） 13時30分～17時00分	輪之内町文化会館 （輪之内町中郷新田1495）	(1)	

※ワークショップ【内容】を参考

今後も、毎週火曜日に翌週火曜から翌々週月曜までのワークショップの開催予定をお知らせします。(次回は5月28日)

○制作ワークショップの概要

【期 間】令和6年4月から8月まで

【場 所】各市町村の公共施設等

【内 容】市町村が選定した文化の「推し」をモチーフに、和紙や竹を素材として制作する行灯状の造形物「ちーオシスタチュー」を制作

(1) 竹組み(竹で「推し」の形を組みます)

(2) 和紙の色付け、電球取付け(和紙に色を付けるとともに、竹組みに電球を取り付けます)

(3) 和紙の貼付け(色付けした和紙を竹組みに貼り付けて、ちーオシスタチューを完成させます)

※市町村によっては、ワークショップの内容・順番・回数が変わります。

【参加者】市町村により参加者の募集方法が異なります。(20名程度)

○上記町村で制作するちーオシスタチューのデザインイメージ(テーマとなる推し)は以下のとおりです。下記デザインについては、日比野克彦総合プロデューサーが制作しました。

【安八町】※町独自デザイン

あいのあるまち



【東白川村】

寺の無い村のツチノコ



【笠松町】

ミニかさ横丁



【輪之内町】

かわばたくん



◆「清流の国ぎふ」文化祭2024の概要◆

- 1 正式名称 「第39回国民文化祭」「第24回全国障害者芸術・文化祭」
- 2 統一名称 「清流の国ぎふ」文化祭2024（両大会をあわせた名称）
- 3 基本方針
 - ①「清流の国ぎふ」の文化力を結集・発信
 - ②次世代を見据えた文化芸術の創造
 - ③文化芸術で人が輝く共生社会の実現
 - ④国民文化の大交流の実現
- 4 キャッチフレーズ ともに・つなぐ・みらいへ ～ 清流文化の創造 ～
- 5 主催者 岐阜県、文化庁、厚生労働省 ほか
- 6 会 期 令和6年10月14日(月・祝)～11月24日(日) 42日間

◆清流文化地域推し活動『ちーオシ』について◆

地域の「推し」を住民協働で見つけだし、文化祭の開会式に持ち寄って披露するアートプロジェクトが「清流文化地域推し活動」（ちーオシ）です。

全市町村において「コミュニケーター」が主導しながら「推し」の選定や「ちーオシスタチュー」の制作を進めていきます。

このプロセスを通して開催機運を盛り上げるとともに、地域の活性化を目指しています。

▶コミュニケーター

- ・当事業における地元のリーダー（各市町村から選出）
- 「推し」の選定プロセスに参画し、オブジェ制作を主導

▶地域の「推し」

- ・地域でこれからも大事にしたい、共有したいイチオシの文化
(令和5年度中に選定済み)

▶ちーオシスタチュー

- ・市町村が選定した「推し」をモチーフに、和紙や竹を素材として制作する行灯状の造形物
- ・文化祭の総合プロデューサーを務める日比野克彦氏がデザイン画を制作・監修
- ・令和6年4月から8月まで制作ワークショップを実施

清流文化地域推し活動（愛称：『ちーオシ』）について



<https://gifu-bunkasai2024.pref.gifu.lg.jp/koku-shou-bunsai/chi-oshi/>